

別紙 4

地域医療支援病院における紹介患者に対する  
医療提供に係る年次計画

## 別紙 4

### 地域医療支援病院における紹介患者に対する医療提供に係る年次計画について

#### 1. 年次計画を策定した経緯

令和元年度の小林市立病院における紹介患者に対する医療提供（医療法第四条第一項第一号関係）について、基準を満たしていないことにより、令和元年度の業務報告に併せて紹介率及び逆紹介率の基準を満たすよう、年次計画を策定するものです。

#### （参考）紹介率及び逆紹介率の基準

地域医療支援病院紹介率が 50%以上であり、かつ、地域医療支援病院逆紹介率が 70%以上であること。

#### 2. 直近 3 年間及び令和 2 年度における紹介率及び逆紹介率

##### 【全体】

項目	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度※注 1
紹介率 (基準 50%以上)	63.4%	58.6%	44.6%	52.17%
逆紹介率 (基準 70%以上)	93.7%	92.5%	66.0%	78.4%

##### 【診療科別】

項目	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度※注 1	
	紹介率	逆紹介率	紹介率	逆紹介率	紹介率	逆紹介率	紹介率	逆紹介率
内科	25.4%	42.1%	23.3%	33.5%	57.1%	65.7%	76.5%	94.1%
外科	79.0%	113.2%	74.3%	107.4%	72.4%	107.6%	72.3%	105.5%
整形外科	52.3%	108.1%	52.1%	123.9%	48.5%	88.3%	45.9%	89.2%
泌尿器科	63.9%	67.9%	69.5%	81.0%	74.8%	68.1%	80.8%	65.4%
産婦人科	15.1%	44.6%	14.0%	55.5%	32.8%	66.3%	28.2%	76.1%
小児科	-注 2	-注 2	-注 2	-注 2	2.8%	6.8%	5.2%	10.3%

※注 1 令和 2 年度の紹介率逆紹介率については、令和 2 年 4 月 1 日～令和 2 年 6 月 30 日まで。

※注 2 H29～H30 は、小児科常勤医師が不在のため、内科に合算して計上しています。

#### 3. 基準を満たせなくなった要因

当院の紹介率及び逆紹介率を診療科ごとに分析したところ、産婦人科及び小児科において、基準を満たしていない状況です。

産婦人科においては、平成 29 年 7 月に西諸医療圏において分娩を行っていた唯一の医療機関が分娩を取り扱わなくなったことにより、西諸医療圏では、分娩を行うことが出来なくなりました。

このことに伴い、小林市、えびの市、高原町で産婦人科医の確保及び分娩再開に向けて調整を行い、平成 30 年 7 月の産婦人科常勤医師着任により、小林市立病院において産婦人科診療（産科及び婦人科健診）を再開、平成 31 年 1 月から分娩取扱を再開し現在に至っております。

産婦人科においては、小林市や高原町には医療機関がなく、病院の運用上、初診を受けざるを得ない状況であることから、地域医療支援病院の基準となる紹介率及び逆紹介率の基準を単独科で満たすことが大変難しい状況です。

また、小児科においては、西諸医療圏で小児科を標榜していた医療機関が、平成 30 年度に 1 件、令和元年度に 1 件閉院し、結果、小児科を標榜する医療機関は、小林市に 1 件、えびの市に 1 件、高原町に 1 件となりました。

当院では、小児科常勤医の着任により、平成 31 年 4 月から小児科を再開し、診療を行っていますが、前述のとおり医療圏内の小児科標榜医療機関の閉院に伴い、初診の患者を受けることが多い事から、産婦人科と同じように、紹介率及び逆紹介率の基準を単独科で満たすことが大変難しい状況です。

#### 7. 紹介率及び逆紹介率を満たすための年次計画

令和元年度の紹介率及び逆紹介率の基準を満たさなかったことに鑑み、病院全体としては、従来どおり、かかりつけ医を推奨し、かかりつけ医と当院の役割分担を明確化することで、紹介率及び逆紹介率の基準を満たすよう取り組みます。

産婦人科や小児科においては、先に説明したとおり、当医療圏における産婦人科を標榜する医療機関が 1 件（分娩取り扱い施設は 0 件）、小児科を標榜する医療機関が 3 件しかなく、地域柄、初診を制限することが難しい状況ですが、可能な限りかかりつけ医の推奨を行い、開業医の先生方と連携を深めることで紹介率及び逆紹介率の基準を病院全体として満たすよう更に努力いたします。

以上のように大変厳しい状況ではありますが、産婦人科及び小児科に限らず、病院全体として取り組み、各診療科の先生方、管内の医療機関の先生方のご協力により、令和 2 年度における現在までの紹介率及び逆紹介率については、基準を満たしていることから、今後も数値を注視しながら、地域医療支援病院としての役割を担うよう努力いたします。